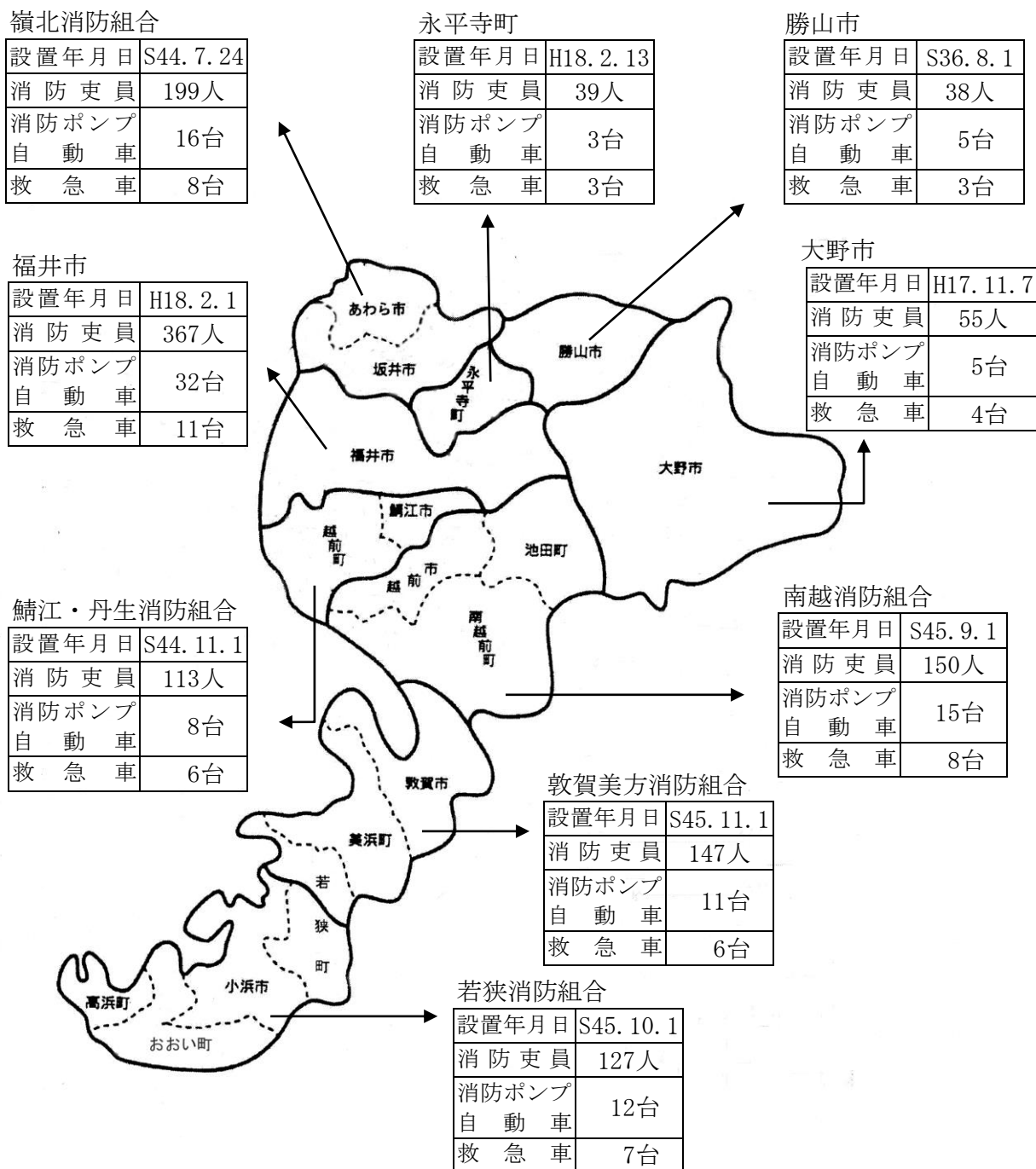


消 防 編

第1章 消防の概要

第1表 福井県常備消防体制(平成31年4月1日現在)



※台数については、消防団分を含まない

第2表 消防の概況表

面積（国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」H30.10.1現在）		4,190.52 km ²	
平成27年国勢調査（確定値）人口		786,740 人	
推計人口（平成31年4月1日現在）		769,548 人	
推計世帯数（平成31年4月1日現在）		286,993 世帯	
65才以上高齢者数（福井県の推計人口 平成31年4月1日現在）		231,011 人	
高齢化率（ " " ）		30.0 %	
地域別人口	福井坂井地区（平成27年国勢調査 確定値）	404,796 人	
	奥越地区	57,234 人	
	丹南地区	184,783 人	
	嶺南地区	139,927 人	
30年火災状況	火災件数	199 件	
	うち	建物火災件数	108 件
		林野火災件数	4 件
	建物焼損面積	26,530 m ²	
	林野焼損面積	29 a	
	損害額	2623,913 千円	
	うち	建物火災	2330,254 千円
	死者（自殺者数内数）	15 (4) 人	
	負傷者	26 人	
	出火率（人口1万人に対する出火件数） ※人口：平成30年3月31日現在	2.53 件	
3活0動年救急状況	救急出場件数	31,069 件	
	うち	急病	19,456 件
		交通事故	2,485 件
		一般負傷	4,762 件
搬送人員	29,681 人		
消防本部・署所	消防本部	単独設置市	3
		単独設置町	1
		消防一部事務組合	5
	消防署数	19	
	出張所数	28	
	消防職員	消防吏員	1,235 人
		その他の職員	27 人
合計		1,262 人	
消防団	消防団数	18	
	分団数	237	
	消防団員	非常勤団員数	5,824 人
		常勤団員数	—
		合計	5,824 人

消 防 車 両 等	区 分		消防本部・署所	消 防 団	
	普通消防ポンプ自動車			53 台	135 台
水槽付消防ポンプ自動車			23 台	—	
はしご付消防ポンプ自動車			12 台	—	
屈折はしご付消防ポンプ自動車			1 台	—	
大型高所放水車			2 台	—	
泡原液搬送車			2 台	—	
化学消防自動車			17 台	—	
指揮車			20 台	—	
小型動力ポンプ付積載車			—	208 台	
小型動力ポンプ(車両に積載していないもの)			29 台	109 台	
広報車			30 台	—	
資機材搬送車			27 台	—	
屈折放水塔車			0 台	—	
救急自動車			56 台	—	
救助工作車			15 台	—	
その他の車両			22 台	—	
消 防 水 利	消火栓	公 設		18,721 個	
		私 設		98 個	
	防火水槽	100m ³ 以上		129 基	
		60m ³ 以上 100m ³ 未満		139 基	
		40m ³ 以上 60m ³ 未満		4,823 基	
		20m ³ 以上 40m ³ 未満		475 基	
	井戸	公 設		79 個	
		私 設		—	
そ の 他				547 個	
通 信 施 設 等	消防用無線		基地局および固定局		67 局
			移動局		936 局
	防災行政無線	市町	同報無線	同報親局	28 局
				同報受信設備	25,194 局
		移動無線	基地局	19 局	
			移動局	767 局	
		県	固定系	地上系	29 局
				衛星系	71 局
	移動系	基地局等	19 局		
		移動局等	222 局		
	テレビ監視装置				2 基
	火災報知専用電話				104 回線
消防電話				236 回線	

第2章 火災の実態

1 概況

平成30年中の火災発生件数は199件、死者15人、負傷者26人、損害額26億2,391万円、焼損棟数185棟、り災世帯数118世帯、り災人員305人となっており、一日当たりの損害状況は第1表のとおりで、概ね毎日719万円が灰じんに帰していることになる。

火災発生件数、損害額および死傷者数の過去10年間の推移は、第1図、第2図のとおりであり、火災発生件数においては、平成25年中が最も多く、平成29年中が最も少ない。

2 出火件数および損害額の状況

(1) 出火件数

総出火件数は199件で、これを火災種別ごとにみると、第3図のように建物火災が108件で全体の54.3%を占め、林野火災4件(2.0%)、車両火災33件(16.6%)、船舶火災1件(0.5%)、その他火災53件(26.6%)となっている。

また、建物火災だけでみると、第4図のように一般住宅が42件(38.9%)で最も多く、次いで工場13件(12.0%)、共同住宅7件(6.5%)、特定複合用途6件(5.6%)、併用住宅4件(3.7%)、物品販売店舗等4件(3.7%)、旅館・ホテル等4件(3.7%)、飲食店1件(0.9%)、神社・寺院等1件(0.9%)、倉庫1件(0.9%)、事務所等1件(0.9%)、その他21件(19.4%)となっている。

第3表の月別火災発生状況表を見ると、3月の発生件数が37件で最も多く、2月が8件と最も少ない。

第4表では、市町別の火災発生状況を示している。

(2) 損害額

損害額は26億2,391万円で、これを火災種別ごとにみると、第5図のように建物火災が23億3,025万円で全体の88.8%を占め、次いで車両火災3,205万円(1.2%)となっている。火災1件当たりの損害額は約1,319万円となる。

第3表の月別火災発生状況表をみると、9月の損害額が約17億7,968万円で最も多く、2月が約1,292万円で最も少ない。

3 出火原因

全火災の出火原因別状況を表したのが第6図であり、出火原因別損害状況を表したのが第6表である。

第6図をみると、出火原因ではたばこが最も多く16件で8.0%を占め、次いで、たき火15件(7.5%)、電灯電話等の配線12件(6.0%)、配線器具、火入れ各11件(各

5. 5%)、排気管10件(5.0%)などとなっている。

4 火災による死者の状況

死者の死因別発生状況を表したのが第7表であり、死者の経過別、年齢別発生状況を表したのが第8表である。

第7表をみると、死因では、自殺が4人、火傷が3人となっている。

また、平成30年中の死者に占める高齢者は11人で全体の約73%となった。

第1表 1日当たりの損害状況

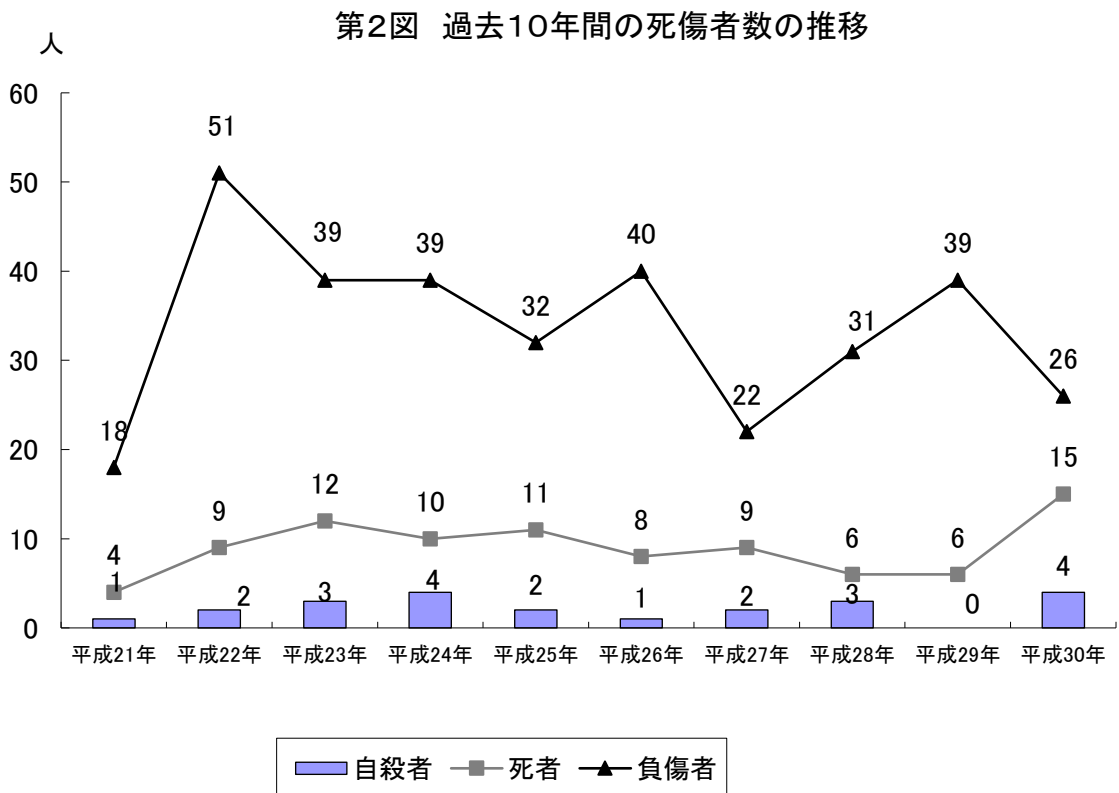
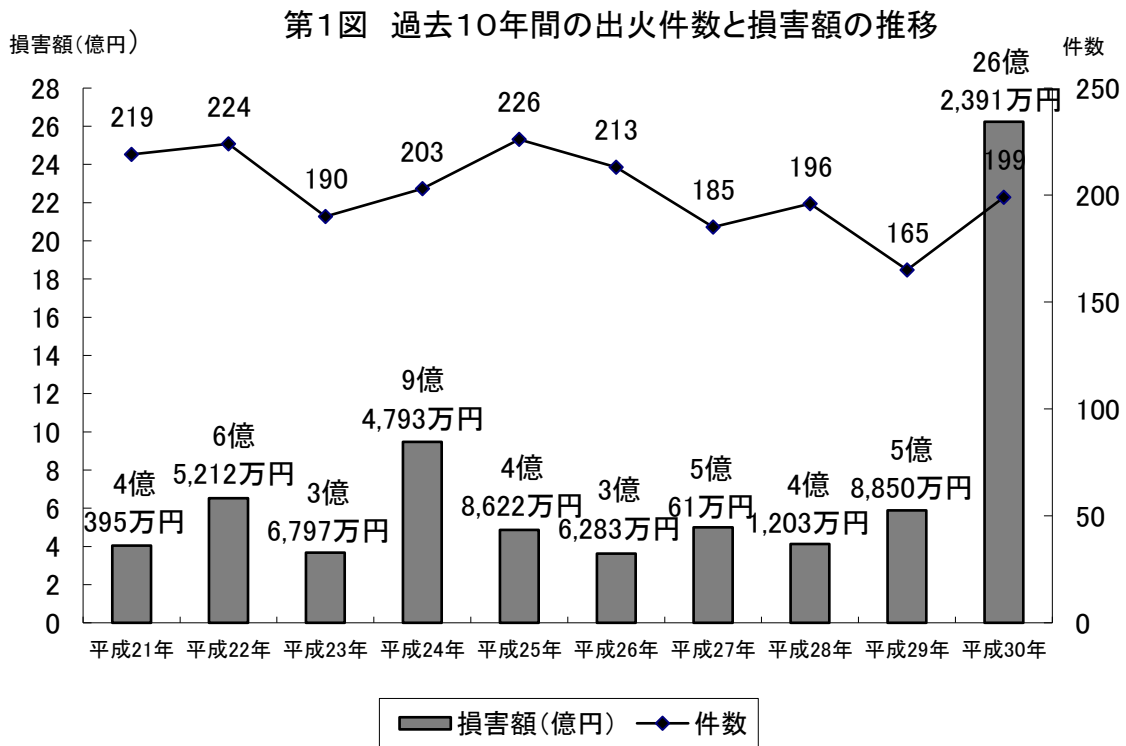
区 分	単位	平成30年 (A)	平成29年 (B)	対前年増加数 (A) - (B)
出 火 件 数	件	0.55	0.45	0.10
損 害 額	万円	719	161	558
焼 損 棟 数	棟	0.51	0.50	0.01
り 災 世 帯 数	世帯	0.32	0.31	0.01
り 災 人 員	人	0.84	0.98	△0.14

第2表 平成30年火災発生状況と前年比較表

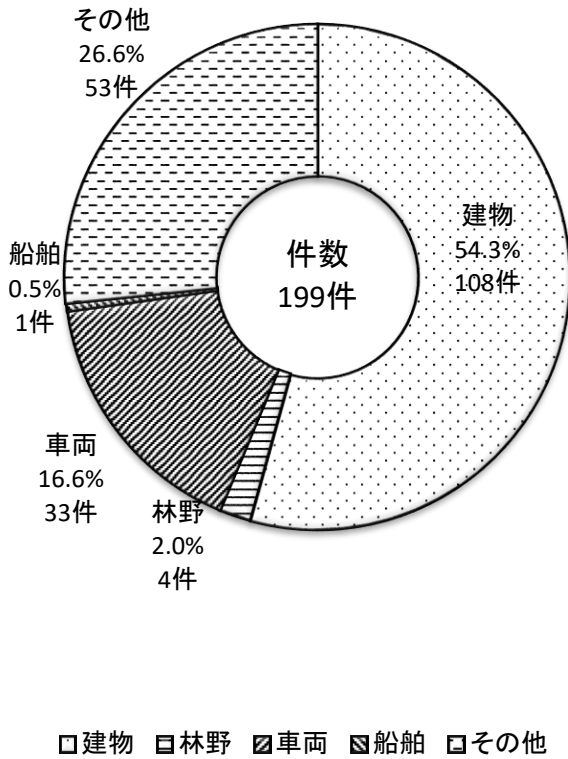
区 分	平成30年(A)	平成29年(B)	対前年増加数 (A) - (B) = (C)
総 出 火 件 数	199	165	34
建 物	108	103	5
林 野	4	2	2
車 両	33	27	6
船 舶	1	1	0
そ の 他	53	32	21
焼 損 棟 数 (棟)	185	181	4
全 焼	44	50	△ 6
半 焼	15	19	△ 4
部 分 焼	52	58	△ 6
ぼ や	74	54	20
り 災 世 帯 数 (世 帯)	118	114	4
全 損	32	33	△ 1
半 損	10	13	△ 3
小 損	76	68	8
り 災 人 員 (人)	305	359	△ 54
建 物 焼 損 面 積 (m ²)	26,530	8,535	17,995
林 野 焼 損 面 積 (a)	29	43	△ 14
損 害 額 合 計 (千 円)	2,623,913	588,509	2,035,404
建 物	2,330,254	536,985	1,793,269
林 野	578	47	531
車 両	32,053	44,187	△ 12,134
船 舶	116	168	△ 52
そ の 他	260,912	3,034	257,878
爆 発	0	4,088	△ 4,088
死 者 (人)	15	6	9
() は 放 火 自 殺 者 内 数	(4)	(0)	4
建 物	10 (1)	5 (0)	5 1
林 野	0	0	0
車 両	0	1	△ 1 0
船 舶	0	0	0
そ の 他	5 (3)	0 (0)	5 3
負 傷 者 (人)	26	39	△ 13
建 物	22	27	△ 5
林 野	0	0	0
車 両	2	7	△ 5
船 舶	0	0	0
そ の 他	2	5	△ 3
出 火 率 (人口1万人に対する出火件数)	2.53	2.08	

平成30年人口：平成30年3月31日現在の住民基本台帳人口による。

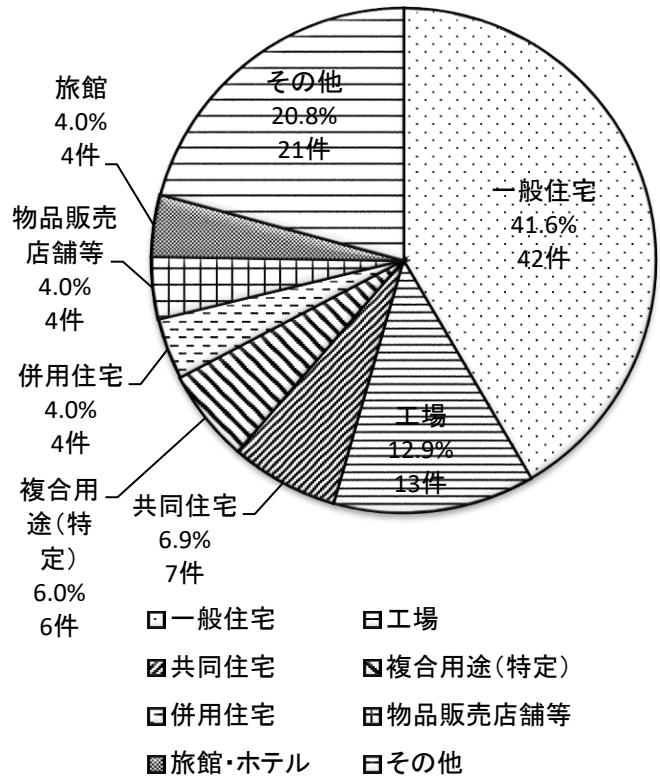
平成29年人口：平成29年3月31日現在の住民基本台帳人口による。



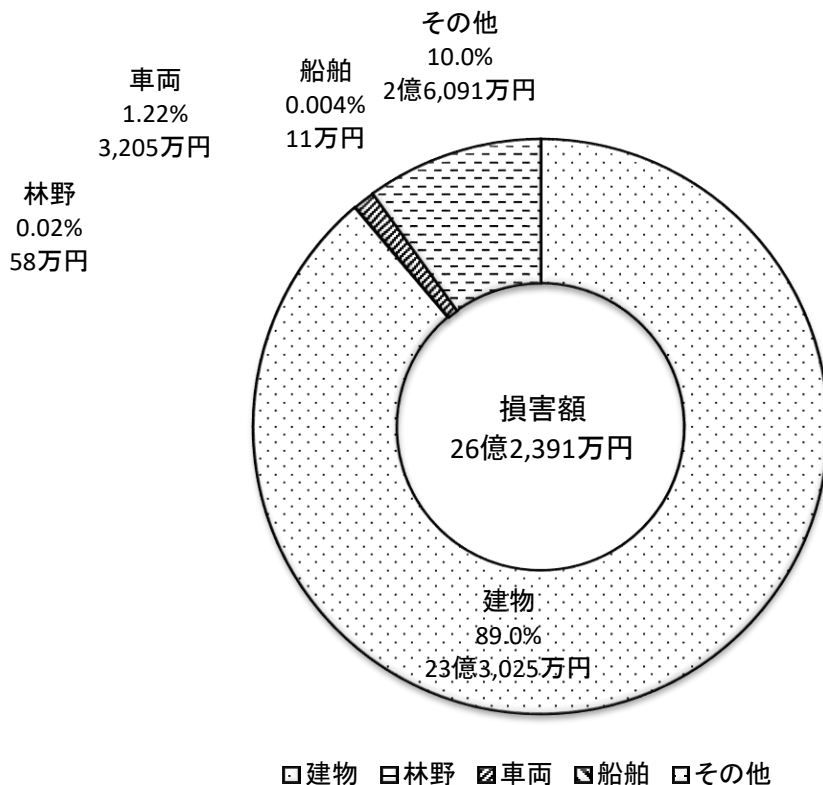
第3図 火災発生件数の内訳



第4図 うち建物火災件数の内訳



第5図 損害額の内訳



第3表 平成30年月別火災発生状況表

月	出火件数(件)						焼損棟数(棟)				焼損面積		り災世帯数(世帯)			り災人員(人)	死(人)	内は放火自殺者(人)	負傷者(人)	損害額(千円)							
	合計	建物	林	車	船舶	その他	合計	全	半	小	建物(m ²)	野(a)	合計	全	半					小	合計	建物	野	林	車	船舶	その他
1	13	12	0	1	0	0	23	6	2	12	3	1,137	0	17	6	3	8	41	4	2	48,995	47,492	1	816	0	686	0
2	8	6	0	1	0	1	8	2	2	0	4	172	0	9	2	2	5	13	1	1	12,919	12,431	0	287	0	201	0
3	37	12	2	3	0	20	17	4	1	6	6	716	12	9	6	1	2	23	2	3	69,014	42,516	62	2,942	0	23,494	0
4	20	10	1	3	0	6	19	8	1	2	8	1,355	7	10	3	1	6	20	2	3	64,479	59,295	6	4,033	0	1,145	0
5	21	12	1	4	0	4	30	6	4	11	9	4,292	10	16	6	1	9	43	3	7	228,100	169,375	509	2,129	0	56,087	0
6	13	5	0	4	0	4	8	1	1	5	5	104	0	7	1	0	6	23	1	2	16,702	14,532	0	2,107	0	63	0
7	14	8	0	3	0	3	11	2	0	4	5	158	0	9	2	0	7	23	0	1	14,900	14,774	0	126	0	0	0
8	16	5	0	5	0	6	15	6	1	5	3	380	0	3	1	0	2	7	0	1	27,400	13,535	0	13,865	0	0	0
9	11	7	0	2	0	2	8	1	2	1	4	16,422	0	5	1	0	4	19	0	0	1,779,676	1,779,360	0	313	0	3	0
10	19	10	0	4	0	5	14	3	0	4	7	178	0	7	0	0	7	18	2	3	193,959	12,162	0	2,577	0	179,220	0
11	13	9	0	2	0	2	19	4	0	4	11	1,354	0	18	3	1	14	58	0	2	145,343	143,672	0	1,658	0	13	0
12	14	12	0	1	1	0	13	1	1	2	9	262	0	8	1	1	6	17	0	1	22,426	21,110	0	1,200	116	0	0
計	199	108	4	33	1	53	185	44	15	52	74	26,530	29	118	32	10	76	305	15	26	2,623,913	2,330,254	578	32,053	116	260,912	0

第4表 市町別火災状況

区分	出火件数(件)							焼損棟数(棟)					り災世帯数(世帯)			り災人員(人)	
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損		小損
福井市	57	35	2	10	0	0	10	55	10	2	15	28	38	6	2	30	99
敦賀市	18	9	0	4	0	0	5	13	5	2	1	5	5	2	0	3	8
小浜市	9	6	0	1	0	0	2	12	4	0	5	3	9	4	0	5	24
大野市	8	6	1	1	0	0	0	14	3	2	6	3	15	5	1	9	34
勝山市	10	6	0	1	0	0	3	8	4	0	0	4	4	3	0	1	9
鯖江市	9	7	0	2	0	0	0	7	2	0	1	4	3	1	0	2	6
あわら市	9	2	0	2	0	0	5	6	1	0	4	1	1	0	0	1	1
越前市	13	11	0	2	0	0	0	14	1	3	5	5	7	1	3	3	14
坂井市	29	13	0	6	0	0	10	33	8	4	7	14	22	6	3	13	72
市計	162	95	3	29	0	0	35	162	38	13	44	67	104	28	9	67	267
永平寺町	5	0	0	2	0	0	3	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0
池田町	1	1	0	0	0	0	0	3	1	0	0	2	2	1	0	1	4
南越前町	9	6	1	1	0	0	1	7	1	0	3	3	5	1	0	4	9
越前町	3	2	0	0	0	0	1	7	3	0	4	0	4	0	0	4	19
美浜町	4	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高浜町	6	1	0	0	0	0	5	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
おおい町	4	1	0	0	0	0	3	1	0	1	0	0	1	1	0	0	1
若狭町 (内訳)	5	2	0	1	0	0	2	2	1	1	0	0	2	1	1	0	5
旧三方町 敦賀美方消防管轄	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	3
旧上中町 若狭消防管轄	4	1	0	1	0	0	2	1	1	0	0	0	1	1	0	0	2
町計	37	13	1	4	1	0	18	23	6	2	8	7	14	4	1	9	38
県計	199	108	4	33	1	0	53	185	44	15	52	74	118	32	10	76	305

若狭町は、旧三方町と旧若狭町では消防の管轄が異なるため、内訳を記載した。

期間:平成30年1月1日～12月31日

死傷者数(人)		焼 損 面 積			損 害 額(千円)						
死 者	負 傷 者	建 物 床 (m ²)	建 物 表 (m ²)	林 野 (a)	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	爆 発
5	4	1,851	160	11	84,199	62,300	8	3,012	0	18,879	0
1	0	16,378	39	0	1,773,750	1,770,869	0	2,513	0	368	0
1	1	259	23	0	33,457	19,640	0	13,817	0	0	0
0	2	642	39	10	15,676	13,833	509	1,334	0	0	0
1	1	548	0	0	24,344	24,053	0	260	0	31	0
0	3	200	0	0	14,379	12,404	0	1,975	0	0	0
0	1	3,325	74	0	394,651	151,976	0	2,929	0	239,746	0
0	3	386	46	0	22,009	21,964	0	45	0	0	0
4	6	1,861	105	0	185,993	182,097	0	3,195	0	701	0
12	21	25,450	486	21	2,548,458	2,259,136	517	29,080	0	259,725	0
0	0	0	0	0	1,810	0	0	626	0	1,184	0
0	2	209	0	0	34,453	34,453	0	0	0	0	0
0	1	174	25	8	3,106	1,367	61	1,678	0	0	0
0	0	311	51	0	12,749	12,746	0	0	0	3	0
0	0	0	0	0	116	0	0	0	116	0	0
1	0	0	2	0	10	10	0	0	0	0	0
1	0	34	0	0	1,524	1,524	0	0	0	0	0
1	2	352	0	0	21,687	21,018	0	669	0	0	0
0	0	105	0	0	9,820	9,820	0	0	0	0	0
1	2	247	0	0	11,867	11,198	0	669	0	0	0
3	5	1,080	78	8	75,455	71,118	61	2,973	116	1,187	0
15	26	26,530	564	29	2,623,913	2,330,254	578	32,053	116	260,912	0

第5表 市町別月別火災発生件数、損害額および出火率

区 分	総計		1月		2月		3月		4月		5月		6月	
	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)
福井市	57	84,199	3	20,678	4	507	8	19,841	7	20,124	7	10,084	4	79
敦賀市	18	1,773,750	0	0	1	728	2	368	1	0	0	0	0	0
小浜市	9	33,457	1	184	0	0	1	18,040	2	75	0	0	0	0
大野市	8	15,676	1	2,178	1	348	0	0	0	0	3	7,889	0	0
勝山市	10	24,344	0	0	0	0	2	8,663	0	0	2	4,168	0	0
鯖江市	9	14,379	1	1,631	0	0	0	0	1	1,955	0	0	2	324
あわら市	9	394,651	0	0	0	0	4	12,134	0	0	1	203,280	1	17
越前市	13	22,009	1	1,506	1	7,978	3	30	1	1,988	2	350	0	0
坂井市	29	185,993	3	10,973	1	3,358	4	1	3	3,076	3	2,324	5	15,613
市 計	162	2,548,458	10	37,150	8	12,919	24	59,077	15	27,218	18	228,095	12	16,033
永平寺町	5	1,810	1	626	0	0	1	54	1	1,130	0	0	0	0
池田町	1	34,453	0	0	0	0	0	0	1	34,453	0	0	0	0
南越前町	9	3,106	1	21	0	0	5	63	1	1,678	1	5	0	0
越前町	3	12,749	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
美浜町	4	116	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
高浜町	6	10	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0
おおい町	4	1,524	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0
若狭町 (内訳)	5	21,687	1	11,198	0	0	2	9,820	0	0	1	0	1	669
旧三方町 <small>敦賀美方消防管轄</small>	1	9,820	0	0	0	0	1	9,820	0	0	0	0	0	0
旧上中町 <small>若狭消防管轄</small>	4	11,867	1	11,198	0	0	1	0	0	0	1	0	1	669
町 計	37	75,455	3	11,845	0	0	13	9,937	5	37,261	3	5	1	669
県 計	199	2,623,913	13	48,995	8	12,919	37	69,014	20	64,479	21	228,100	13	16,702

若狭町は、旧三方町と旧若狭町では消防の管轄が異なるため、内訳を記載した。

出火率(人口1万人に対する出火件数)は、平成30年3月31日現在の住民基本台帳人口により算定

期間:平成30年1月1日～12月31日

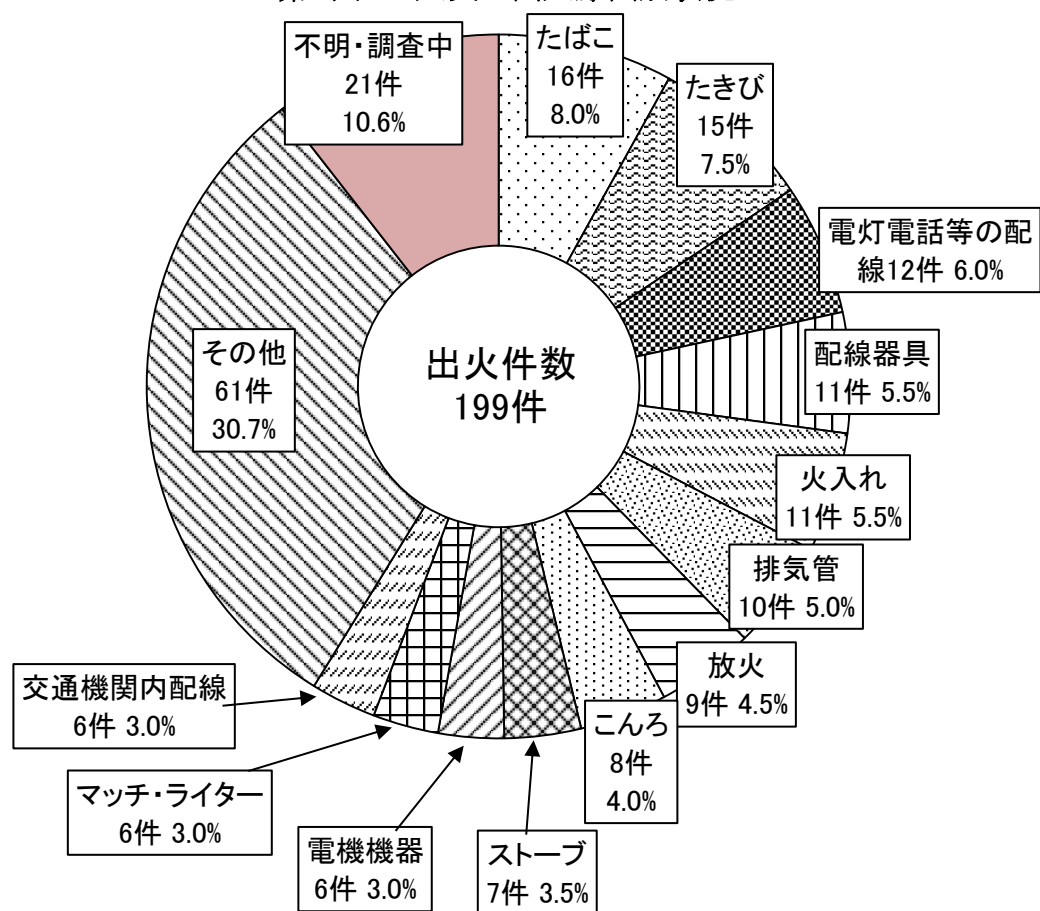
7月		8月		9月		10月		11月		12月		出火率 (人口 1万人に 対する 出火件数)
件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	
6	2,304	2	46	4	4,754	3	8	5	3,586	4	2,188	2.16
1	50	5	1,395	2	1,766,736	3	4,397	1	0	2	76	2.72
2	3	2	15,109	1	46	0	0	0	0	0	0	3.05
1	3,301	0	0	0	0	1	38	0	0	1	1,922	2.37
1	0	2	10,830	0	0	2	683	0	0	1	0	4.24
0	0	1	20	0	0	2	3,258	0	0	2	7,191	1.30
1	0	1	0	0	0	1	179,220	0	0	0	0	3.17
2	9,242	0	0	0	0	0	0	2	711	1	204	1.56
0	0	2	0	0	0	3	222	3	139,697	2	10,729	3.15
14	14,900	15	27,400	7	1,771,536	15	187,826	11	143,994	13	22,310	2.35
0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2.68
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.80
0	0	0	0	0	0	0	0	1	1,339	0	0	8.33
0	0	0	0	2	6,616	1	6,133	0	0	0	0	1.37
0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	116	4.13
0	0	0	0	0	0	2	0	1	10	0	0	5.73
0	0	0	0	1	1,524	0	0	0	0	0	0	4.83
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.32
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	1	0	4	8,140	4	6,133	2	1,349	1	116	3.80
14	14,900	16	27,400	11	1,779,676	19	193,959	13	145,343	14	22,426	2.53

第6表 全火災の出火原因別損害状況表

期間:平成30年1月1日～12月31日

出火原因	出火件数(件)	焼損床面積(m ²)	焼損棟数(棟)	り災世帯数(世帯)	損害額(千円)
たばこ	16	272	7	6	8,042
たき火	15	113	4	0	1,662
電灯電話等の配線	12	3,545	20	9	423,896
配線器具	11	843	19	19	19,614
火入れ	11	267	6	1	9,769
排気管	10	0	0	0	23,987
放火	9	1,123	14	10	20,682
こんろ	8	2	9	5	48
ストーブ	7	874	14	13	71,580
電気機器	6	44	4	3	3,428
マッチ・ライター	6	0	0	0	1,334
交通機関内配線	6	0	0	0	1,030
その他	61	2,000	63	36	198,919
不明・調査中	21	17,447	25	16	1,839,922
合計	199	26,530	185	118	2,623,913

第6図 全火災の出火原因別状況



第7表 死者の死因別発生状況表

死因 火災種別	一酸化炭素 中毒・窒息	火傷	打撲・骨折 等	自殺	その他	不明	合計(人)
建 物 火 災	2	1	1	1	4	1	10
林 野 火 災	0	0	0	0	0	0	0
車 両 火 災	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他 火 災	0	2	0	3	0	0	5
合 計 (人)	2	3	1	4	4	1	15

第8表 死者の経過別・年齢別発生状況表

経過別 年齢別(歳)	0 ～ 5	6 ～ 10	11 ～ 20	21 ～ 30	31 ～ 40	41 ～ 50	51 ～ 60	61 ～ 64	65 ～ 70	71 ～ 80	81～	不明	合計 (人)
熟睡により発見遅れる									1		1		2
ガス爆発のためほとん ど避難できず									1				1
着衣着火									1	1	1		3
放火自殺				1	1		1				1		4
その他							1		1		1		3
不明・調査中											2		2
合計(人)	0	0	0	1	1	0	2	0	4	1	6	0	15

第3章 救急業務の実態

1 救急体制

災害により生じた事故もしくは屋外および公衆の出入りする場所、または屋内において生じた事故で、迅速に搬送する手段がない場合に傷病者を医療機関等へ搬送する業務が救急業務であるが、平成31年4月1日現在、第1表のとおり、救急自動車56台（うち高規格救急自動車56台）、救急隊員533名（うち救急救命士235名）で救急業務にあたっている。

2 救急医療体制

救急隊が搬送する傷病者を受け入れる救急告示医療機関数は、31年4月1日現在、第2表のとおり51施設である。

3 救急活動状況

救急活動状況を表したのが第3表であり、救急出場件数は31,069件、搬送人員は29,681人となっている。県内1日あたりの出場件数は約85件となり、約17分に1回の割合で救急隊が出場したことになる。

過去10年間の出場件数および搬送人員の推移を表したのが第1図であり、出場件数、搬送人員ともにほぼ毎年増加している。

出場件数、搬送人員の事故種別内訳を表したのが第2図、第3図であり、出場件数の事故種別内訳では、急病が19,456件で、全体の62.6%を占め、次いで一般負傷4,762件(15.3%)、交通事故2,485件(8.0%)などとなっている。搬送人員では急病が18,366人で全体の61.9%を占め、次いで一般負傷4,575人(15.4%)、交通事故2,762人(9.3%)などとなっている。

第1表 救急体制状況表

平成31年4月1日現在

消防(局)本部名	救急自動車			救急隊員					
	高規格救急車	通常型	合計	専任		兼任		合計	
				救急救命士		救急救命士		救急救命士	
福井市	11	0	11	54	37	27	18	81	55
大野市	4	0	4			44	16	44	16
勝山市	3	0	3			28	9	28	9
永平寺町	3	0	3			35	11	35	11
嶺北消防組合	8	0	8			90	32	90	32
鯖江・丹生消防組合	6	0	6			88	35	88	35
南越消防組合	8	0	8			75	27	75	27
敦賀美方消防組合	6	0	6	17	13	19	13	36	26
若狭消防組合	7	0	7	8	5	48	19	56	24
合計	56	0	56	79	55	454	180	533	235

第2表 医療機関状況表

平成31年4月1日現在

種別 告示別	国・公立	公的	私的		合計
			病院	診療所	
救急告示医療機関	7	5	28	11	51
その他の医療機関	14	7	24	475	520
合計	21	12	52	486	571

第3表 救急活動状況

(平成30年中)

	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自行損傷	急病	その他
救急出場件数	31,069	109	6	64	2,485	320	217	4,762	62	195	19,456	3,393
搬送人員	29,681	25	5	37	2,762	315	230	4,575	63	132	18,366	3,171

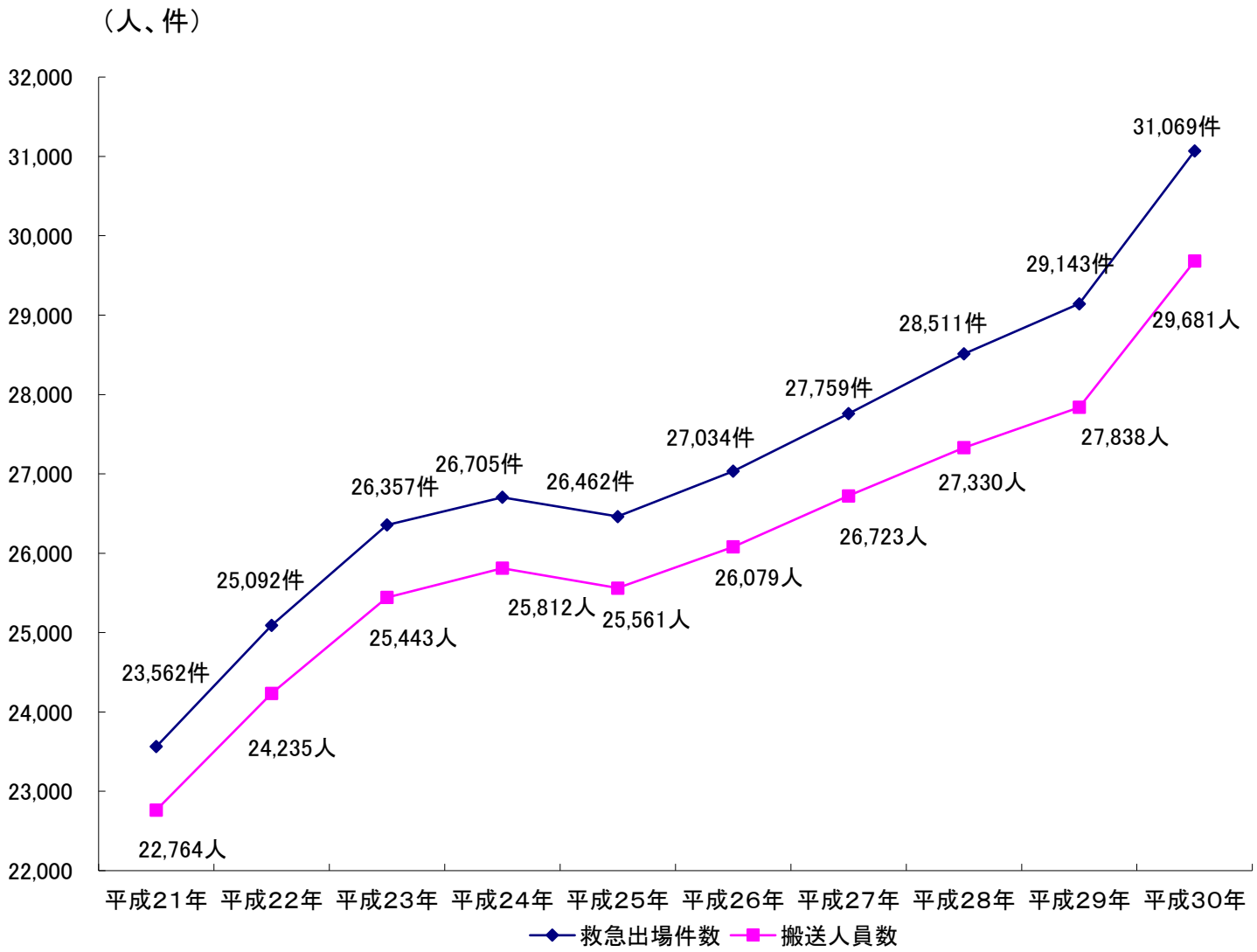
第4表 高速自動車道における救急活動状況表

(平成30年中)

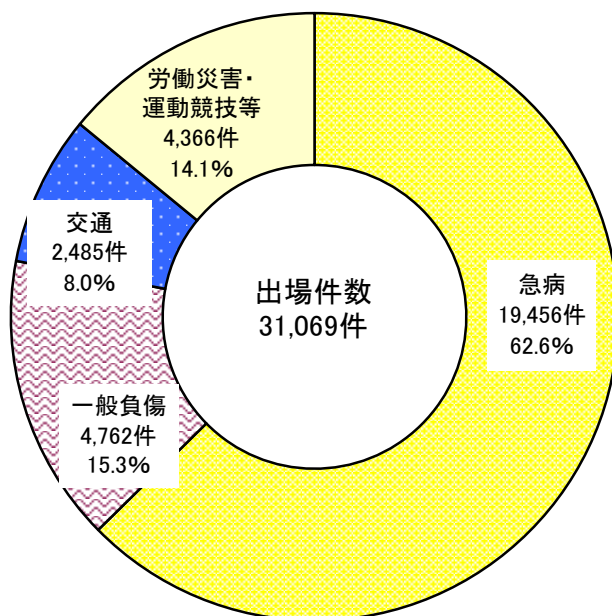
高速道路名	北陸自動車道										小計	
担当消防本部名	嶺北消防組合消防本部		福井市消防局		鯖江・丹生消防組合消防本部		南越消防組合消防本部		敦賀美方消防組合消防本部			
I C 名	金津	丸岡	福井北	福井	鯖江	武生	今庄	敦賀				
救急出動数	4	11	5	5		9	4	25			18	81
搬送人員	3	9	3	7		8	4	28			17	79

高速道路名	舞鶴若狭自動車道										小計	計
担当消防本部名	敦賀美方消防組合消防本部					若狭消防組合消防本部						
I C 名	舞鶴美浜	若狭三方	敦賀南	三方五湖	大飯高浜	小浜西	小浜	若狭上中	三方五湖			
救急出動数	3	1	1	3	4	0	3	3	0		18	99
搬送人員	3	2	1	1	2	0	2	1	0		12	91

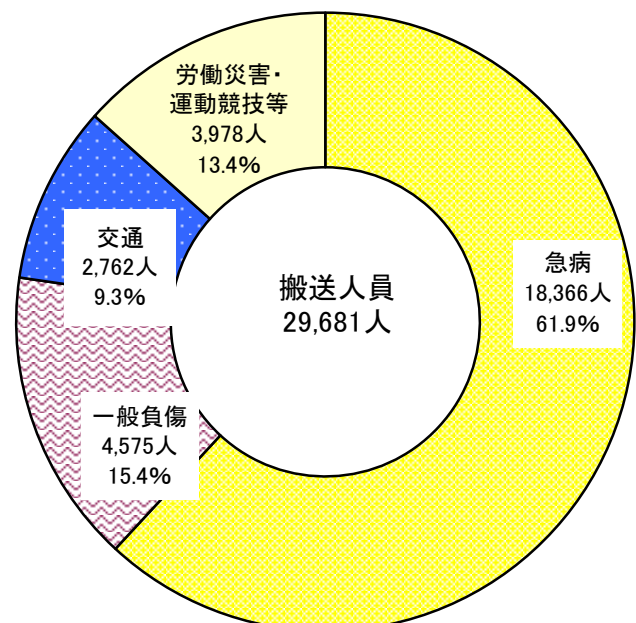
第1図 過去10年間の救急活動の推移



第2図 出場件数の事故種別内訳



第3図 搬送人員の事故種別内訳



第4章 予 防 行 政 の 概 況

1 防火対象物定期点検報告制度

不特定多数の人が出入りするなど一定の防火対象物について、所有者や賃借人等のうち管理について権原を有する人が、火災予防のために資格者による定期点検を行い、その結果を消防機関へ報告する制度である。

この制度による平成30年4月1日から平成31年3月31日までの状況は第1表のとおりである。

第1表 防火対象物定期点検報告制度実施状況表

防火対象物の区分		点検を要する防火対象物数		点検報告済防火対象物数		特例認定済防火対象物数		
		第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当	
1	イ	劇場、映画館、演芸場または観覧場	38		17		9	
	ロ	公会堂または集会場	259		111		76	
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの						
	ロ	遊技場またはダンスホール	63		39		6	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	ニ	カラオケボックス等	5		5			
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	2	11	1	4		
	ロ	飲食店	11	78	5	20		
4		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗または展示場	220	25	117	5	21	1
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	42	85	21	30	9	21
6	イ	病院、診療所または助産所	33	7	14	3	13	2
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、精神障害者社会復帰施設等	7	3	2	1	4	
	ハ	老人デイサービスセンター、老人福祉センター、精神障害者社会復帰施設（軽微）等	2	5	1	4	1	
	ニ	幼稚園または特別支援学校	3		1			
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場	3				1	
16	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が上記に該当する用途に供されているもの	226	66	90	10	47	2
16の2		地下街						
合 計			914	280	424	77	187	26

【備考】

- ・点検報告済防火対象物とは、1年に1回、防火対象物点検資格者による点検報告が必要なもので、点検の結果、点検基準に適合していると認められた防火対象物。「防火基準点検済証」を表示することができる。
- ・特例認定済防火対象物とは、一定の要件を満たしているもので、申請によって点検報告の義務が3年間免除される防火対象物。「防火優良認定証」を表示することができる。
- ・第1号該当とは、収容人員が300人以上の防火対象物
- ・第2号該当とは、収容人員が30人以上300人未満の防火対象物で次の要件に該当する防火対象物
 - 特定用途部分が地階または3階以上に存するもの（避難階は除く）
 - 階段が2以上設けられていないもの
- ・調査基準日…平成31年3月31日
- ・調査期間……平成30年4月1日～平成31年3月31日

2 消防設備士試験・講習の状況

消防設備士は、甲種・乙種合わせて619人の受験者に対して274人が合格し、合格率は44.3%であった。その状況は第2表のとおりである。

また、免状所有者に対する義務講習は667人が受講した。その状況は第3表のとおりである。

第2表 消防設備士試験実施状況表

試験日：平成30年8月26日（日）

平成31年2月17日（日）

区 分	平成30年度								免状交付延べ数	
	受験者数（人）		合格人数（人）		合格率（%）		免状交付数		甲種	乙種
	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種		
特 類	6		1		16.7%		1		19	
第 1 類	69	18	21	5	30.4%	27.8%	23	5	1,256	337
第 2 類	20	13	6	8	30.0%	61.5%	8	7	362	105
第 3 類	27	4	11	3	40.7%	75.0%	9	3	280	66
第 4 類	146	70	47	22	32.2%	31.4%	43	21	2,816	1,127
第 5 類	15	7	5	7	33.3%	100.0%	5	9	312	127
第 6 類		127		71		55.9%		66		2,205
第 7 類		97		67		69.1%		44		3,271
計	283	336	91	183	32.2%	54.5%	89	155	5,045	7,238

第3表 消防設備士法定講習実施状況表

区 分	受 講 対 象 者 区 分	受講者数（人）	実 施 年 月 日
消 火 設 備	(甲・乙)第1類, 第2類, 第3類 消防設備士	139	平成30年8月21日（火）
避難設備・消火器	(甲・乙)第5類, (乙)第6類 消防設備士	177	平成30年8月22日（水）
警 報 設 備	(甲・乙)第4類, (乙)第7類 消防設備士	351	平成30年8月23日（木） 平成30年8月24日（金）
合 計		667	

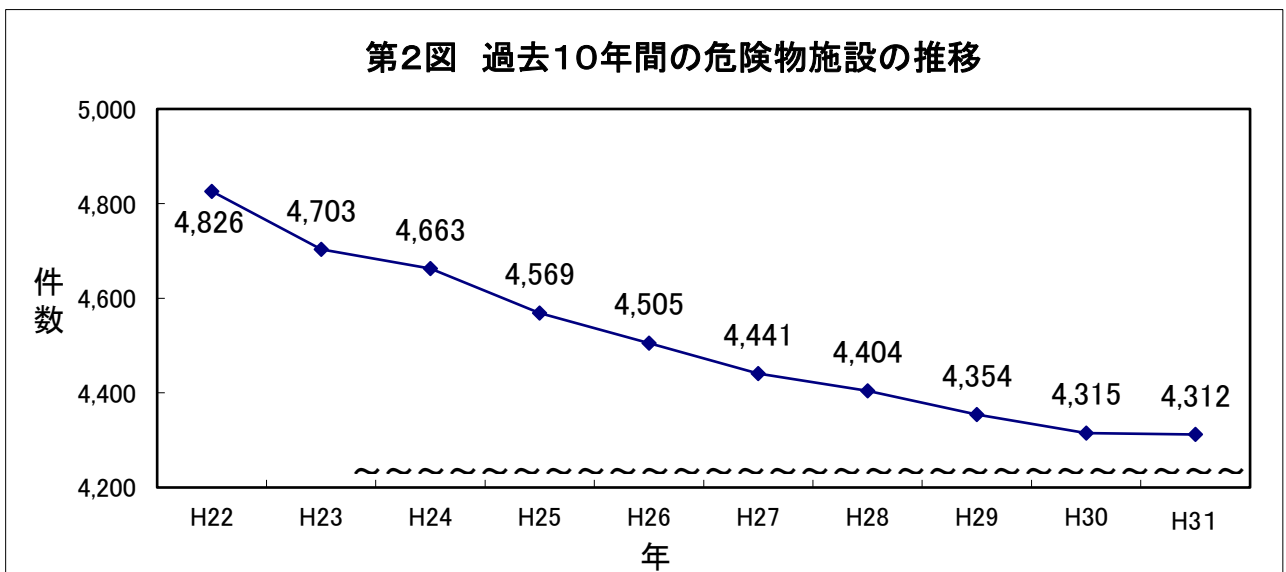
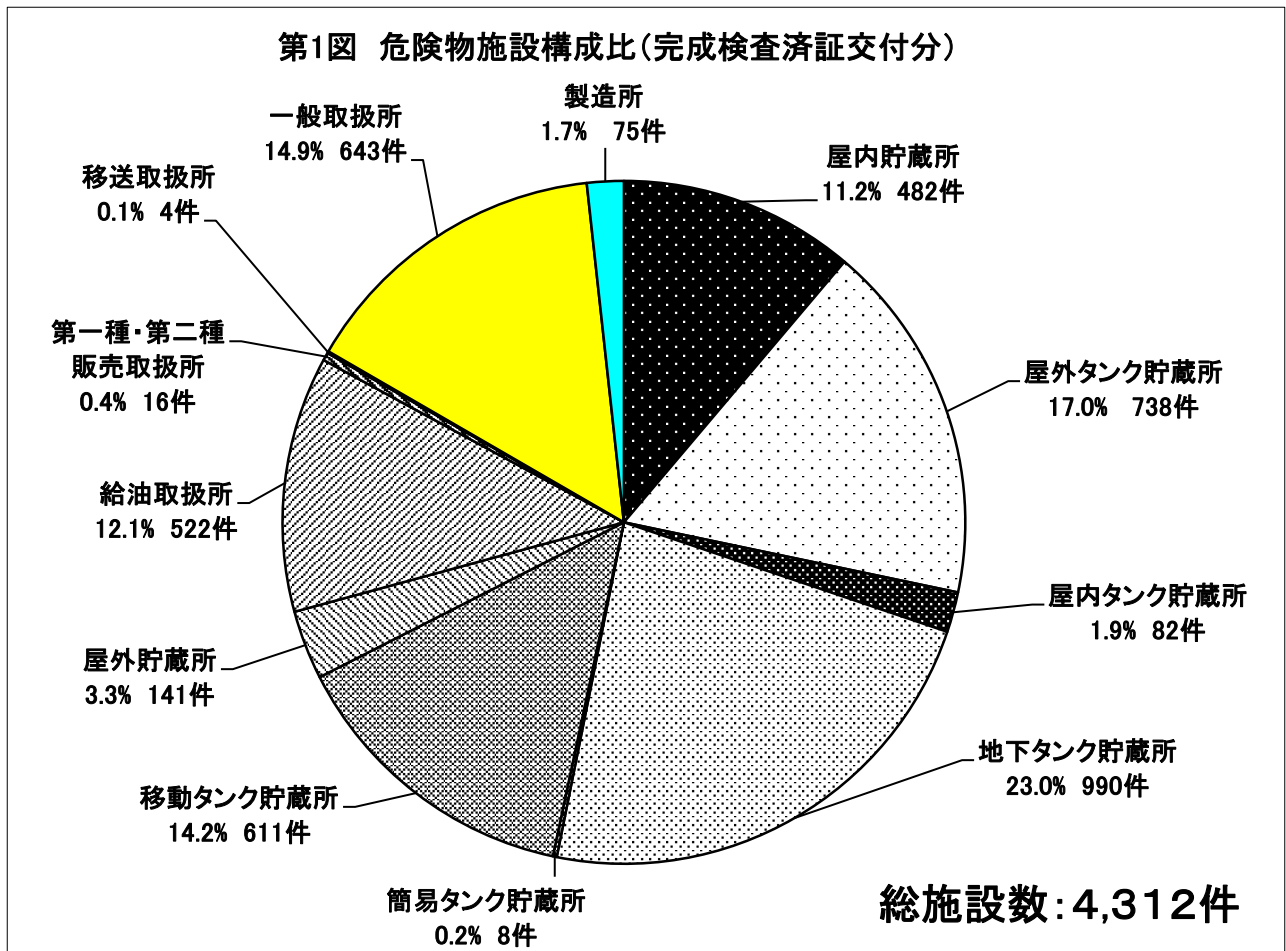
第5章 危険物規制

1 概況

(1) 危険物規制は、福井市、大野市、勝山市および永平寺町においては当該市町が、またその他の市町においてはそれぞれの加入する消防組合が行なっている。

なお、県内の総施設数は第1図のとおりである。(平成31年3月31日現在)

(2) 危険物の総施設数の推移は第2図のとおり減少傾向であり、前年に対し3件減少している。



第1表 施設別危険物施設数

平成31年3月31日現在

危険物施設の別 消防(局)本部名	製造所 (A)	貯蔵所										取扱所					合計 (A+B+C)	事業所	
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	準特定屋外タンク貯蔵所		屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計 (B)	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所			小計 (C)
				特定屋外タンク貯蔵所	特定屋外タンク貯蔵所														
福井市	21	108	189	5	20	27	265	1	167	19	776	132	8	0	1	141	282	1,079	525
大野市	0	8	15	0	0	0	51	0	31	0	105	24	0	0	0	26	50	155	92
勝山市	3	7	29	0	0	1	46	0	19	2	104	17	0	0	0	20	37	144	81
永平寺町	0	5	5	0	0	2	21	0	15	0	48	7	0	0	0	11	18	66	38
嶺北消防組合	30	100	172	3	36	11	176	1	111	22	593	96	0	0	2	165	263	886	317
鯖江・丹生消防組合	5	60	60	0	0	6	114	0	44	9	293	43	3	4	0	51	101	399	277
南越消防組合	12	73	114	0	0	11	119	2	79	82	480	64	0	0	0	77	141	633	255
敦賀美方消防組合	1	58	105	7	8	14	122	0	88	5	392	88	0	0	1	95	184	577	223
若狭消防組合	3	63	49	0	0	10	76	4	57	2	261	51	1	0	0	57	109	373	154
合計	75	482	738	15	64	82	990	8	611	141	3,052	522	12	4	4	643	1,185	4,312	1,962

- 注：1 貯蔵所および取扱所の区分は危険物の規制に関する政令の区分による（以下の表においても同様）。
- 2 本表には、設置を許可した施設のうち、完成検査済証を交付した施設数から廃止届を受理した施設数を除いた数を記載（以下の表においても同様）。
- 3 準特定屋外タンク貯蔵所には、屋外タンク貯蔵所のうち、貯蔵し、または取り扱う液体の危険物の最大数量が五百キログラム以上千キログラム未満のものを記載（以下の表においても同様）。
- 4 特定屋外タンク貯蔵所数は、屋外タンク貯蔵所のうち、貯蔵し、または取り扱う液体の危険物の最大数量が千キログラム以上のものを記載（以下の表においても同様）。
- 5 事業所数は、危険物施設を有する事業所の数を記載。

第2表 指定数量別・類別危険物施設数

平成31年3月31日現在

危険物施設の別 数量別・類別	製 造 所 (A)	貯 蔵 所										取 扱 所					合 計 (A + B + C)		
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	準 特 定 屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	特 定 屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計 (B)	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所		小 計 (C)	
5倍以下	3	214	131			57	539	8	467	18	1,434	38	6			283	327	1,764	
5倍を超えて10倍以下	7	113	104			20	232		14	27	510	55	3			154	212	729	
10 " 50 "	37	86	249			5	166		24	28	558	132	3	4		123	262	857	
50 " 100 "	13	20	84				30		85	2	221	72				36	108	342	
100 " 150 "	3	25	45				13		23		106	51				16	67	176	
150 " 200 "		9	7	1			4			1	21	61				9	70	91	
200 " 1,000 "	12	12	52	9	3		6		1		71	107				15	122	205	
1,000 " 5,000 "		3	24	5	19						27					3	3	30	
5,000 " 10,000 "			3		4						3					2	2	5	
10,000倍を超えるもの			38		38						38				4	2	6	44	
合 計	75	482	737	15	64	82	990	8	614	76	2,989	516	12	4	4	643	1,179	4,243	
単 独	第 1 類	1	10								10							11	
	第 2 類	1	4								4					3	3	8	
	第 3 類		3								3					5	5	8	
	第 4 類	51	420	734	15	64	82	990	8	614	75	2,923	516	12	4	4	612	1,148	4,122
	第 5 類		17	2							19							19	
	第 6 類			2							2						9	9	11
混 在	22	28								1	29					14	14	65	
合 計	75	482	738	15	64	82	990	8	614	76	2,990	516	12	4	4	643	1,179	4,244	

注：1 数量別の欄は、危険物施設で貯蔵または取り扱う危険物の最大数量（許可数量）を指定数量の倍数によって表したものである。
 2 類別の欄の単独には、類を同じくする危険物のみを貯蔵または取り扱っている危険物施設の数、混在には、類を異にする危険物を貯蔵または取り扱っている危険物施設の数に記載。

第3表 危険物施設に対する立入検査状況

平成30年 4月 1日から
平成31年 3月31日まで

危険物施設の別 消防(局)本部名		製 造 所 (A)	貯 蔵 所							取 扱 所					合 計 (A + B + C)		
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計 (B)	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所		一 般 取 扱 所	小 計 (C)
福 井 市	検査施設数	21	95	183	25	236	1	184	18	742	121	5		1	131	258	1,021
	延回数	43	100	184	27	249	1	191	18	770	151	5		1	144	301	1,114
大 野 市	検査施設数							29		29	9					9	38
	延回数							29		29	9					9	38
勝 山 市	検査施設数	2	2	13	1	26		19	1	62	26	17			9	52	116
	延回数	2	2	13	1	26		19	1	62	26	17			9	52	116
永 平 寺 町	検査施設数		5	5	2	21		15		48	7				11	18	66
	延回数		5	5	2	21		15		48	7				11	18	66
嶺北消防組合	検査施設数	25	58	114	7	95	1	102	16	393	69			2	101	172	590
	延回数	25	58	114	7	95	1	102	16	393	69			2	101	172	590
鯖江・丹生消防組合	検査施設数	5	13	17	1	14		44	1	90	41				11	52	147
	延回数	5	13	17	1	14		44	1	90	41				11	52	147
南越消防組合	検査施設数	14	1	5		10		159	1	176	32				23	55	245
	延回数	32	1	5		12		163	1	182	43				47	90	304
敦賀美方消防組合	検査施設数																
	延回数																
若狭消防組合	検査施設数	2	31	28	6	50	2	43	1	161	34				39	73	236
	延回数	3	34	29	7	58	3	46	1	178	38				41	79	260
合 計	検査施設数	69	205	365	42	452	4	595	38	1,701	339	22		3	325	689	2,459
	延回数	110	213	367	45	475	5	609	38	1,752	384	22		3	364	773	2,635

注：1 検査施設数の欄は、立入検査を行った施設数を危険物施設の区分ごとに記載。
2 延回数の欄は、立入検査を行った延回数を危険物施設の区分ごとに記載。

第4表の1 容量別屋外タンク貯蔵所数

平成31年3月31日現在

消防(局)本部名 容量別	福	大	勝	永	嶺	鯖	南	敦	若	合
	井	野	山	平	北	江・	越	賀	狭	計
	市	市	市	町	消	丹	消	美	消	
					防	生	防	方	防	
					組	消	組	消	組	
					合	防	合	防	合	
						組		組		
						合				
100kl未満	147	15	28	5	116	42	104	65	43	565
100kl～500kl未満	17	0	1	0	17	18	10	25	6	94
500kl～1,000kl未満	5	0	0	0	3	0	0	7	0	15
1,000kl～5,000kl未満	0	0	0	0	21	0	0	8	0	29
5,000kl～10,000kl未満	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
10,000kl～50,000kl未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50,000kl～100,000kl未満	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
100,000kl以上	20	0	0	0	10	0	0	0	0	30
合計	189	15	29	5	172	60	114	105	49	738

第4表の2 品名別屋外タンク貯蔵所数

平成31年3月31日現在

品名別 容量別	第4類											第4類以外の類(B)	合計(A+B)
	原	ナ	ガ	灯	軽	重	第	ア	そ	小			
	油	フ	ソ	油	油	油	4	ル	の	計			
		サ	リ				石	コ	他	(A)			
			ン				油	ール					
							類	類					
100kl未満	0	0	0	74	33	173	18	51	212	561	2	563	
100kl～500kl未満	0	0	0	3	16	43	7	0	24	93		93	
500kl～1,000kl未満	3	0	1	0	1	7	0	0	3	15		15	
1,000kl～5,000kl未満	0	0	6	3	4	9	0	0	7	29		29	
5,000kl～10,000kl未満	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2		2	
10,000kl～50,000kl未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
50,000kl～100,000kl未満	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3		3	
100,000kl以上	30	0	0	0	0	0	0	0	0	30		30	
合計	33	0	7	82	54	235	25	51	246	733	2	735	

第5表 危険物取扱者試験実施状況

区 分 種 別		平成27年度 合 格 率 (%)	平成28年度 合 格 率 (%)	平成29年度 合 格 率 (%)	平成30年度		
					受 験 者 数 (人)	合 格 者 数 (人)	合 格 率 (%)
甲 種		18.4	32.1	30.9	145	55	37.9
乙 種	第 1 類	62.6	65.9	60.4	227	143	63.0
	第 2 類	63.0	76.0	74.1	149	107	71.8
	第 3 類	69.0	68.1	63.8	203	121	59.6
	第 4 類	29.2	27.0	34.3	2,506	948	37.8
	第 5 類	59.6	68.1	66.4	197	128	65.0
	第 6 類	59.6	66.5	58.5	242	153	63.2
	小 計	38.7	39.2	43.8	3,524	1,600	45.4
丙 種		64.9	57.5	58.7	598	306	51.2
合 計		41.1	41.0	45.3	4,267	1,961	46.0

第6表 危険物取扱者保安講習実施状況

区 分 講習種別		平成27年度 受 講 者 数 (人)	平成28年度 受 講 者 数 (人)	平成29年度 受 講 者 数 (人)	平成30年度	
					受 講 者 数 (人)	講 習 実 施 回 数 (回)
給 油 取 扱 所		481	456	410	425	8
石 油 コ ン ビ ナ ー ト		41	50	56	44	1
そ の 他		1,520	1,471	1,456	1,647	12
合 計		2,042	1,977	1,922	2,116	21

- 注：1 「給油取扱所」は、給油取扱所において危険物の取扱作業に従事している危険物取扱者を対象とした講習種別である。
- 2 「石油コンビナート」は、石油コンビナート等災害防止法上の特定事業所における危険物施設において危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者を対象とした講習種別である。
- 3 「その他」は、「給油取扱所」および「石油コンビナート」以外の危険物施設において危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者を対象とした講習種別である。

2 危険物施設の火災および漏えい事故等

- (1) 過去5年間における危険物の災害事故発生件数は、平成28年が9件と最も多い。
 (2) 過去5年間の危険物施設別の災害事故発生件数は、一般取扱所での事故が11件と最も多い。

第7表 過去5年間の危険物施設における災害事故発生件数

年	危険物施設の別 内訳	製 造 所 (A)	貯蔵所							取扱所					そ の 他 (D)	合 計 (A+B+C+D)		
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計 (B)	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所			一 般 取 扱 所	小 計 (C)
平成26年	火災								0						1	1		1
	漏えい			2					2						1	1		3
	その他							2	2							0		2
平成27年	火災	1							0							0		1
	漏えい							2	2	1					1	2		4
	その他			1					1							0		1
平成28年	火災								0						4	4		4
	漏えい							1	1						1	1		2
	その他							2	2						1	1		3
平成29年	火災	1							0							0		1
	漏えい					1			1							0		1
	その他								0						1	1		1
平成30年	火災								0						1	1		1
	漏えい							2	2	1						1		3
	その他	1							0	1						1		2
火災計		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	0	8
漏えい計		0	0	2	0	1	0	5	0	8	2	0	0	0	3	5	0	13
その他計		1	0	1	0	0	0	4	0	5	1	0	0	0	2	3	0	9
総計		3	0	3	0	1	0	9	0	13	3	0	0	0	11	14	0	30

注：1 危険物施設の別の「その他」には、危険物運搬中の事故または無許可の危険物施設など、許可を受けている危険物施設以外での事故件数を記載。

第6章 消防の概要

1 消防の組織〈消防機関と人員〉

昭和23年消防組織法施行後、市町村消防の原則が確立され、昭和48年7月1日大野地区消防組合が発足したことにより、県下全域にわたり消防の常備化が実現した。消防吏員は平成31年4月1日現在で1,235名である。

また、消防団員数は平成31年4月1日現在で5,824名であるが、近年の社会経済情勢の変化の影響を受けて、団員数の減少、サラリーマン団員の増加等の課題に直面しており、消防団の充実強化を一層推進することが必要である。

2 消防施設

(1) 消防機械

消防機械の保有状況は第8表および第9表のとおりであるが、特に近年の救急需要の増加に伴い、各消防本部とも高規格救急自動車の導入を推進している。これにより、高度な救急処置を実施することができ、救命率の向上を図っている。

(2) 消防水利

消防水利は、消防機械とともに、火災鎮火のために重要不可欠なものである。

これについては、消防に必要な水利の確保と管理のため「消防水利の基準」が定められ、その基準に適合したものを消防水利としている。消防水利には、消火栓、防火水槽、プール等の人工水利と河川等の自然水利があり、その保有状況は第11表のとおりである。

3 民間防火組織

(1) 幼年消防クラブ

幼年消防クラブは、幼年期における防火教育の重要性、防火活動を通じての正しい社会的態度の養成の必要性などの観点からはじめられたもので、幼稚園、保育園の指導者を中心に消防機関の協力を得て幼年消防活動を行うことにより、父母兄弟や近隣住民に対する防火思想の普及も効果的に図られている。

(2) 少年消防クラブ

少年消防クラブは、少年のころから火災予防に関する知識を身に付け、学校や各家庭における火災防止を図るとともに、火に関する諸原理を実際に即して勉強し、学校教育としての社会科、理科および家庭科の学習の補助を目的とするものであって、昭和25年に少年消防クラブ取扱要綱が制定され、続いて昭和28年に「全国少年消防クラブ運営指導協議会」（会長：消防庁長官）が設けられ、今日に至っている。

(3) 女性防火クラブ

女性防火クラブは、家庭において火を使用する機会の多い女性を対象に、火災予防の知識を養うことが必要であることから、任意に結成されたものであり、消防職団員の指導のもとに各家庭の防火診断、火災の初期活動等、重要な役割を果たしている。

4 表 彰

消防職員または消防団員の士気高揚を図るとともに、地域住民の消防に対する正しい認識と円滑な協力援助関係を確立するため、消防に関して功労のあった消防団員、消防機関その他の団体または個人に対し、各種表彰を行っている。

また、昭和58年より新たに県知事の定例表彰の中で、30年以上勤続の消防団員の配偶者等も表彰することにした。

5 消防の現況

第1表 消防職団員数の推移(各年4月1日現在)

区分	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46
消防職員数	150	163	203	201	231	227	262	257	268	293	328	351	354	372	381	421	461	521	594
消防団員数	11,835	10,701	8,487	8,275	8,091	7,342	7,174	7,147	7,118	6,744	6,759	6,731	6,751	6,754	6,491	6,388	6,303	6,191	6,019

47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成元	2	3	4
693	743	785	785	832	851	872	895	922	937	950	974	974	982	982	983	999	1,009	1,010	1,032	1,052
5,814	5,703	5,647	5,635	5,633	5,623	5,629	5,616	5,549	5,623	5,616	5,608	5,588	5,549	5,545	5,485	5,471	5,453	5,437	5,488	5,492

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
1,090	1,101	1,119	1,141	1,162	1,169	1,183	1,186	1,190	1,188	1,190	1,193	1,192	1,190	1,189	1,184	1,183	1,180	1,192	1,196	1,189
5,497	5,519	5,502	5,533	5,523	5,518	5,497	5,499	5,483	5,460	5,436	5,439	5,442	5,406	5,411	5,411	5,480	5,560	5,656	5,688	5,661

26	27	28	29	30	31
1,188	1,206	1,206	1,226	1,238	1,235
5,720	5,797	5,781	5,809	5,825	5,824

第2表 消防機関の現況

区 分		平成29年4月(A)	平成30年4月(B)	増減(B-A)
消 防 本 部 ・ 署	消 防 本 部 数	9	9	0
	消 防 署 数	19	19	0
	出 張 所 数	28	28	0
	消 防 職 員 数	1,238	1,235	△3
消 防 団	消 防 団 数	18	18	0
	分 団 数	235	236	1
	消 防 団 員 数	5,825	5,824	△1

第3表 消防の概況

平成31年4月1日現在

区分 消防(局)本部名	消防本部・署所						消防団						消防水利		基地局および固定局 移動局				
	設置別		消防署数	出張所数	(消防実員数)	普通自動車数	水槽付消防ポンプ自動車数	消防団数	分団数	消防団常備部数	団員数		普通自動車数	小型動力ポンプ付積載車		消火栓(公設)	防火水槽		
	消防本部のみ設置	消防本部署を併設									計	常勤						非常勤	
福井市	○		4	15	367	20	3	1	54		1,013	1	52	41	9,552	821	30	15	174
大野市		○	1	1	55	3		1	10		465	10	21		487	289	26	3	37
勝山市		○	1		38	2	1	1	12		296	2	10		388	199	13	16	42
永平寺町		○	1		39		3	1	12		268	10	11		177	253	11	3	27
嶺北消防組合		○	4	1	199	6	4	2	33		717	36	9		1,587	1,227	105	4	131
鯖江・丹生消防組合		○	1	4	113	5	1	2	35		569	32	9	3	1,653	891	39	5	98
南越消防組合		○	3	2	150	7	4	3	32		815	12	26	1	2,500	688	32	7	155
敦賀美方消防組合		○	3	1	147	3	4	3	16		746	23	31	6	1,298	220	164	8	137
若狭消防組合		○	1	4	127	7	3	4	33		935	9	39	57	1,079	503	55	6	135
計	1	8	19	28	1,235	53	23	18	237	0	5,824	135	208	108	18,721	5,091	475	67	936

第4表 階級別消防職員数

平成31年4月1日現在

区分	消防職員													その他の職員				条例定数
	消防吏員(実員)										小計(B)			事務職員	技術職員	単 純 労 務 職 員	小 計 (C)	
	消防 司 監	消防 正 監	消防 監	消防 司 令 長	消防 司 令 補	消防 司 令	消防 士 長	消防 副 士 長	消 防 士	小 計 (B)	事務職員	技術職員	単 純 労 務 職 員					
うち 女性	計 (A) = (B) + (C)																	
消防(局)本部名																		
福井市	5	380	1	6	26	79	72	54	61	68	367	13	13	()	()	()	13	356
大野市	3	57	()	()	1	9	15	10	7	13	55	2	2	()	()	()	2	55
勝山市	1	40	()	()	5	4	12	5	5	7	38	2	2	()	()	()	2	42
永平寺町	1	39	()	()	3	7	13	3	3	10	39	()	()	()	()	()	0	45
嶺北消防組合	9	203	1	2	7	38	42	33	33	43	199	4	4	()	()	()	4	206
鯖江・丹生消防組合	5	115	()	()	8	28	25	17	14	20	113	2	2	()	()	()	2	113
南越消防組合	5	152	()	()	10	35	35	20	21	28	150	2	2	()	()	()	2	154
敦賀美方消防組合	0	148	()	()	12	24	27	28	30	25	147	1	1	()	()	()	1	156
若狭消防組合	1	128	()	()	7	29	26	11	25	28	127	1	1	()	()	()	1	130
計	30	1,262	2	12	79	253	267	181	199	242	1,235	27	27	0	0	0	27	1,257

注1: 下段の()は、女性職員の内数

注2: 条例定数に含まれない派遣・出向職員および短時間勤務の再任用職員がいるため、条例定数を超えている場合がある

第5表 階級別非常勤消防団員数

平成31年4月1日現在

階級別 消防(局)本部	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	条約定数
福井市	1013 (49)	1 ()	8 ()	53 (2)	54 (2)	102 (4)	102 (5)	693 (36)	1,055
大野市	465 (100)	1 ()	2 ()	10 (1)	11 (2)	35 (3)	70 (6)	336 (88)	485
勝山市	296 (24)	1 ()	2 ()	12 ()	12 ()	25 (1)	34 (2)	210 (21)	299
永平寺町	268 (18)	1 ()	2 ()	11 (1)	11 (1))	33 (1)	210 (15)	315
嶺北消防組合	717 (16)	2 ()	8 ()	33 ()	52 ()	2 (2)	63 (2)	557 (12)	773
鯖江・丹生消防組合	569 (34)	2 ()	5 ()	36 ()	33 ())	82 (2)	411 (32)	647
南越消防組合	815 (52)	3 ()	9 ()	32 (2)	32 (2))	83 (5)	656 (43)	826
敦賀美方消防組合	746 (40)	3 ()	4 ()	16 ()	16 ()	51 ()	85 ()	571 (40)	761
若狭消防組合	935 (22)	4 ()	6 ()	33 ()	23 ()	54 ()	94 (1)	721 (21)	970
計	5,824 (355)	18 (0)	46 (0)	236 (6)	244 (7)	269 (10)	646 (24)	4,365 (308)	6,131

注：下段の()は、女性団員の内数

第6表 年齢別消防吏員および消防団員数

平成31年4月1日現在

年齢別 消防(局)本部名	消 防 団 員										消 防 吏 員										平均年齢 (D) (C)		
	(C)のうち										団員数 (C)	(A)のうち										平均年齢 (B) (A)	
	18歳 〜 19歳	20歳 〜 24歳	25歳 〜 29歳	30歳 〜 34歳	35歳 〜 39歳	40歳 〜 44歳	45歳 〜 49歳	50歳 〜 54歳	55歳 〜 59歳	60歳 〜 64歳		65歳 以上	18歳 〜 19歳	20歳 〜 24歳	25歳 〜 29歳	30歳 〜 34歳	35歳 〜 39歳	40歳 〜 44歳	45歳 〜 49歳	50歳 〜 54歳			55歳 〜 59歳
福井市	0	10	34	62	124	180	168	164	140	102	29	1,013	0	51	47	44	62	14,847	40.5	1,013	47.3		
大野市	0	7	15	51	45	91	81	67	54	42	12	465	6	6	10	6	5	2,116	38.5	465	46.2		
勝山市	0	5	7	31	39	54	51	33	47	27	2	296	7	10	2	5	1,576	41.5	296	46.0			
永平寺町	0	23	13	24	36	63	53	27	20	9	0	268	4	5	3	4	1,513	38.8	268	41.9			
嶺北消防組合	0	11	21	66	83	145	157	109	73	34	18	717	28	26	36	20	7,412	37.2	717	45.5			
鯖江・丹生消防組合	0	22	42	75	121	124	127	37	15	2	4	569	19	22	17	6	4,251	37.6	569	39.6			
南越消防組合	0	8	34	65	93	159	161	138	82	54	21	815	17	23	9	18	5,684	37.9	815	46.0			
敦賀美方消防組合	0	26	72	154	163	140	78	42	33	30	8	746	24	13	5	7	5,262	35.8	746	39.5			
若狭消防組合	0	26	92	177	220	204	106	63	31	13	3	935	10	16	8	16	4,677	36.8	935	38.9			
計	0	138	330	705	924	1,160	982	680	495	313	97	5,824	100	193	177	103	47,338	38.3	5,824	43.4			

注:18歳〜19歳の欄は18歳未満含む。

第7表 在職年数別消防吏員および消防団員数

平成31年4月1日現在

年数別 消防(局)本部名	消 防 団 員						消 防 団 員									
	消 防 吏 員			非 常 勤 団 員			消 防 吏 員			非 常 勤 団 員						
	合 計	5 年 未 満	5 10 年 未 満	10 15 年 未 満	15 20 年 未 満	20 25 年 未 満	25 30 年 未 満	30 年 以 上	合 計	5 年 未 満	5 10 年 未 満	10 15 年 未 満	15 20 年 未 満	20 25 年 未 満	25 30 年 未 満	30 年 以 上
福 井 市	367	86	54	25	30	26	58	88	1,013	264	206	176	122	101	69	75
大 野 市	55	10	8	6	5	9	5	12	465	82	135	80	45	43	43	37
勝 山 市	38	4	4	5	3	6	7	9	296	54	58	48	47	39	31	19
永 平 寺 町	39	7	6	2	3	6	9	6	268	95	78	38	25	20	9	3
嶺 北 消 防 組 合	199	36	34	28	17	21	34	29	717	144	135	140	107	96	47	48
鯖 江・丹 生 消 防 組 合	113	20	17	14	10	22	11	19	569	164	143	107	97	38	14	6
南 越 消 防 組 合	150	33	25	13	7	23	22	27	815	210	141	134	115	94	81	40
敦 賀 美 方 消 防 組 合	147	21	34	23	20	18	19	12	746	253	243	128	59	25	25	13
若 狭 消 防 組 合	127	18	31	14	12	14	13	25	935	416	233	144	84	44	12	2
計	1,235	235	213	130	107	145	178	227	5,824	1,682	1,372	995	701	500	331	243

第8表 消防ポンプ自動車等現有数(消防本部・署)

平成31年4月1日現在

区分	消防本部・署現有																					
	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	はしご付消防ポンプ自動車 (ポンプ付でないものを含む)	消防ポンプはしご自動車	大型高所放水車	泡原液搬送車	化学消防ポンプ自動車	指揮車	照明車	積小型動力ポンプ付車 積小型動力ポンプ載り	小さい車両に積載して 積小型動力ポンプ載り	広報車	資器材搬送車	屈折放水塔車	水槽車	支援車	人員搬送車	防災指導車	救急自動車	救助工作車	その他車両	
消防(局)本部名																						
福井市消防局	20	3	2	1	1	1	4	5			7	6	4			1	1		11 (11)	2	8	
大野市消防本部	3		1				1	1				1	2		1				4 (4)	1		
勝山市消防本部	2	1	1				1	1				1	1						3 (3)	1	2	
永平寺町消防本部		3						1		2	1	1							3 (3)	1		
嶺北消防組合	6	4	1	1	1	1	4	5			7	1	5			1			8 (8)	3	5	
鯖江・丹生消防組合	5	1		1			2	2				6	2			1	1		6 (6)	1		
南越消防組合	7	4	1	1			2	3			1	7	5			1	1		8 (8)	3		
敦賀美方消防組合	3	4	1			1	2	1			6	1	5			1			6 (6)	2	7	
若狭消防組合	7	3		1			1	1			6	6	2				1		7 (7)	1		
計	53	23	4	2	4	2	17	20	0	0	29	30	27	0	4	4	4	1	56 (56)	15	22	

注:救急自動車の()書きは高規格救急自動車で内数。

第9表 消防ポンプ自動車等現有数（消防団）

平成31年4月1日現在

種別 消防(局)本部名	消防団現有			
	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ	
			小型動力ポンプ付積載車	車両に積載していないもの
福井市	1		52	41
大野市	10		21	1
勝山市	2		10	
永平寺町	10		11	
嶺北消防組合	36		9	
鯖江・丹生消防組合	32		9	3
南越消防組合	12		26	1
敦賀美方消防組合	23		31	6
若狭消防組合	9		39	57
計	135	0	208	109

第10表 化学消火薬剤備蓄状況

平成31年4月1日現在

種別	計		化学消火剤種別											
	(A)	(B)	たん白系		合成界面	水成膜泡	水溶性液体用泡	粉末(kg)						
	(kg) (ア)~(オ)	(kg) (カ)~(ケ)	3%型 (ク) (イ)	6%型 (kl) (イ)	活性剤 (kl) (ウ)	消火薬剤 (kl) (エ)	消火薬剤 (kl) (オ)	第1種 粉未 (カ)	第2種 粉未 (キ)	第3種 粉未 (ク)	第4種 粉未 (ケ)			
消防(局)本部名														
福井市	14.95	0.00	10.50	0.09	1.63	2.39	0.34							
大野市	1.63	0.00			1.63									
勝山市	0.84	0.00			0.84									
永平寺町	0.60	0.00			0.60									
嶺北消防組合	32.68	0.00	4.07		3.77	21.22	3.62							
鯖江・丹生消防組合	4.52	0.00			2.54	1.98								
南越消防組合	2.18	0.00			0.78	1.40								
敦賀美方消防組合	4.61	0.00	0.85		2.56	0.92	0.28							
若狭消防組合	1.34	0.00			1.34									
計	63.35	0.00	15.42	0.09	15.69	27.91	4.24	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		

第12表 消防機関の出動状況

平成30年中

区分	種別	火災		風水害等の災害(イ)	演習訓練(ウ)	広報指導(エ)	警防調査(オ)	火災原因調査(カ)	特別警戒(キ)	捜索(ク)	予防査察(ケ)	誤報等(コ)	その他(カ)
		火災(ア)	火災(イ)										
消防本部・署所	出動回数	28,200	208	285	1,618	4,261	7,240	268	1,991	6	11,059	57	1,207
	出動延人数	87,700	3,302	779	11,548	14,234	18,559	1,247	6,053	36	27,741	617	3,584
消防団	出動回数	3,742	100	71	1,363	136	9	0	710	0	0	18	1,335
	出動延人数	40,337	1,785	1,878	20,006	1,825	168	0	6,100	0	0	116	8,459

第13表 消防吏員・団員の公務による死傷者数

平成30年中

区分	種別	火災		風水害等の災害(イ)	救急業務(ウ)	演習訓練(エ)	特別警戒(オ)	捜索(カ)	その他(キ)
		火災(ア)	火災(イ)						
消防吏員	死者	0	0	0	0	0	0	0	0
	負傷者	10	5	0	1	3	0	0	1
消防団	死者	0	0	0	0	0	0	0	0
	負傷者	4	0	0	0	4	0	0	0

第14表 火災通報施設等の現況

平成31年4月1日現在

区分	火災報知機			テレビ 監視装置 (基)	望楼		電話					救急指令装置			
	受信機 (基)	発信機			小計 (ウ)+(エ) (基)	24時間 監視体 制をとつ ているも の (ウ) (基)	その他 (エ) (基)	小計 (カ)+(キ)+(ク) (回線)	火災報知 専用電話 (カ) (回線)		消防機関にあるもの		救急 指令 専用	消防 指令 装置と併用	
		小計 (ア)+(イ) (基)	公衆用 (ア) (基)						自衛用 (イ) (基)	火災報知 専用電話 (カ) (回線)	消防電話 回線 (カ) (回線)	加入電話 (キ) (回線)			1ヶ月あた りの経費 (千円)
消防(局)本部名															
福井市	0				0		289	18	210	160	61			1	
大野市	0			1	0		32	9	2	5	21				
勝山市	0				0		13	7			7				
永平寺町	0				0		17	12			5			1	
嶺北消防組合	0				0		47	14			33				
鯖江・丹生消防組合	0				0		55	13	5	229	37			1	
南越消防組合	0				0		55	12	2	6	41				
敦賀美方消防組合	0				0		42	11	9	254	22				
若狭消防組合	0			1	0		40	8	8		24				
計	0	0	0	2	0	0	590	104	236	654	251	0	0	3	

第15表 無線通信施設等の現況

平成31年4月1日現在

種別	消防・救急業務用無線（デジタル方式）										携帯電話等					
	固定局			基地局および携帯基地局						移動局		その他の無線局数	衛星携帯電話保有数	救急車および救急隊	うち災害時 優先電話	
	局数		局 の 電 波 の 数 （ そ の 他 の 電 波 の 数 ）	局数		電波の数				陸上移動局数	携帯局数					
	多重	その他		基地局	携帯基地局	統制波	主運用波	活動波	防災相互波							
消防(局)本部名																
福井市	6			9		3	1	5		174			1	11	8	
大野市				3		3	1	2		37			3	4	3	
勝山市		13	13	3		3	1	2		42			1	2	2	
永平寺町				3		3	1	2		12	15		1	3	3	
嶺北消防組合				4		3	1	3		131			1	9		
鯖江・丹生消防組合				5		3	1	2		98			3	6	6	
南越消防組合				7		3	1	3		155			5	8	8	
敦賀美方消防組合				8		3	1	2		137			3	6	5	
若狭消防組合				6		3	1	2	1	135			1	6	6	
計	6	13	13	48	0	27	9	23	1	921	15	0	19	55	41	

第16表 幼年消防クラブの現況

平成31年4月1日現在

種別	組織別クラブ数					組織別クラブ員数					指導者数					
	計	幼稚園 保育園 単位	学校 単位	市町村 単位	地区 単位	その他	計	幼稚園 保育園 単位	学校 単位	市町村 単位	地区 単位	その他	計	幼稚園 保育園 単位	学校 単位	その他
消防(局)本部名																
福井市	2	2					45	45					2	2		
大野市	14	14					1,055	1,055					14	14		
勝山市	12	12					459	459					54	54		
永平寺町	10	10					602	602					51	51		
嶺北消防組合	46	46					4,415	4,415					46	46		
鯖江・丹生消防組合	39	39					1,500	1,500					106	106		
南越消防組合	36	36					827	827					36	36		
敦賀美方消防組合	35	35					2,705	2,705					35	35		
若狭消防組合	1	1					20	20					4	4		
計	195	195	0	0	0	0	11,628	11,628	0	0	0	0	348	348	0	0

第17表 少年消防クラブの現況

平成31年4月1日現在

種別	組織別クラブ数					組織別クラブ員数					指導者数						
	計	学校単位		市町村単位	地区単位	その他	計	学校単位		市町村単位	地区単位	その他	計	学校単位		その他	
		小学校	中学校					小学校	中学校					小学校	中学校		
消防(局)本部名																	
福井市	50	50					2,829	2,829					75	75			
大野市	15	10	5			425	340	85					15	10	5		
勝山市	16	3		4	9	869	350				63	456	52	9			43
永平寺町	13				13	277						277	80				80
嶺北消防組合	26	26				1,027	1,027						26	26			
鯖江・丹生消防組合	20	20				2,627	2,627						121	121			
南越消防組合	21	21				842	842						21	21			
敦賀美方消防組合	12	12				419	419						12	12			
若狭消防組合	0					0							0				
計	173	142	5	4	22	9,315	8,434	85	0	63	733	402	274	5			123

第18表 女性防火クラブの現況および活動状況

平成31年4月1日現在

種別	合計		周囲の状況						活動状況別組織数				
	組織数 (ア)+(イ)+(ウ)+(エ)	人員 (カ)+(キ)+(ク)+(ケ)	市街地		農山村地域		漁村地域		その他 組織数 (エ)	人員 (ケ)	活動状況別組織数		
			組織数 (ア)	人員 (カ)	組織数 (イ)	人員 (キ)	組織数 (ウ)	人員 (ク)			消火活動 を行う (a)	消火活動は 行わないが、 炊き出し、連 絡、救護等 を行う (b)	(a)(b)は行 わず、予防の 啓蒙活動を 行っている (c)
消防(局)本部名													
福井市	41	1,737	16	537	22	734	3	466			8		33
大野市	2	55			2	55					2		
勝山市	8	78	2	30	6	48					8		
永平寺町	1	19	1	19									1
嶺北消防組合	2	558	2	558									2
鯖江・丹生消防組合	22	1,159	7	122	12	453	3	584			12		10
南越消防組合	20	259	12	155	8	104						20	
敦賀美方消防組合	9	1,556	2	1,480	4	57	3	19			7	2	
若狭消防組合	16	203			8	140	8	63			16		
計	121	5,624	42	2,901	62	1,591	17	1,132	0	0	53	22	46

第19表 消防表彰受賞状況

種 類		年 度										
		21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
叙 勲		24	23	22	21	22	23	21	31	33	21	
藍 綬 褒 章		1				3	3	2				
消 防 庁 長 官 表 彰	功 勞 章	1	2	1	2	2	2	1	1	1		
	永年勤続功労章	20	21	21	21	21	21	22	22	23	23	
	表 彰 旗											
	竿 頭 綬					1	1	1				
	消防団 地域 活動	消 防 団	1	1	1	1	1	1	1	1		
		事 業 所	1	1	1				1			1
	少年 消防 クラブ	表 彰 旗		1			1					
		表 彰 楯	1		1	1		1	1	1	1	1
		指 導 者										
	福 井 県 知 事 表 彰	功 勞 章	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
永年勤続精績章		141	142	155	152	154	177	132	168	149	154	
銀 杯		30 年 以 上										
		退職10～15年未満	75	66	70	67	71	73	49	55	67	58
感 謝 状		退 職 幹 部	24	24	22	22	33	16	49	23	20	17
		人 命 救 助 そ の 他										
		夫 人 表 彰	22	36	33	28	26	33	33	31	26	47
竿 頭 綬					35	46	46	47	49	52		
特 別 功 勞 章												

第7章 消防教育訓練

1 消防学校の概要

(1) 沿革

昭和34年7月16日 福井市水越町に福井県消防学校設置。
 昭和47年11月1日 福井市合谷町へ移転。
 平成8年4月1日 福井市大畑町へ再移転、現在に至る。

(2) 施設概要

ア 所在地等 (ア) 所在地 福井市大畑町97-21-3
 (イ) 敷地面積 40,759.02㎡
 イ 建物工作物等

建物構造および規模

・ 敷地面積…………… 40,759.02㎡ ・ 建物延面積…………… 8,001.62㎡

名称	規模・構造	延べ面積(㎡)	内 容
教育管理棟 宿泊施設(3階)	RC造3階	3,249㎡	1階 校長室 講師控室 職員室 会議室 防災倉庫 2階 普通教室(60人)(40人) 談話室 図書室 視聴覚室 理化学室(各種実習室併設) 等 3階 寮室(20室) トレーニングルーム 娯楽室
体育館	鉄骨造2階建	2,106.25㎡	1階 食堂 学生ホール 和室 倉庫 2階 アリーナ
雨天訓練場	鉄骨平屋建	1,091.22㎡	訓練場(救助、ポンプ操法訓練施設) 訓練資器材庫 訓練車両庫
訓練塔(主)	SRC造 地下1階建 地上8階建	594.84㎡	立坑訓練室 耐煙迷路室 消火設備実験室 垂直救助訓練 水平ロープ渡過 ブリッジ救出訓練施設 放水訓練室 水平救助・担架吊り下げ救出訓練施設 梯子車注水訓練室 積載梯子上救出訓練施設 梯子車進入訓練室 高所活動・人命検索訓練施設 救助袋等避難器具取扱訓練室 地下火災実験室
訓練塔(補助)	鉄骨造 地上7m	A塔 70.44㎡ B塔 32.86㎡	人命救助訓練施設 引上救助訓練施設 中高層建物防御訓練施設 斜め救助訓練施設 障害突破 垂直降下訓練施設
水難訓練用プール (兼、潜水訓練)	FRP製	25m×5コース 水深1.5m～3.0m 容量630m³ 採水口4箇所(ポンプ車用) 機械室・便所(34.43㎡)	
その他施設			油火災消火訓練施設(耐火レンガ造) 直径3m×高さ0.5m 防火訓練壁 幅14m×高さ4m 受水槽20㎡ 煙道訓練施設 間口1.0m×1.0m 模擬火災訓練家屋(可搬式プレハブ型模擬ハウス) 山岳救助訓練施設(25m×60m)
屋外訓練場		7,800㎡(120m×65m)	1周200mグラウンド

2 教育訓練

消防職団員の各種教育訓練を第1表および第2表のように実施し、人的消防力の充実向上を図るとともに、より高度の専門的知識を修得させた。
 また、第3表のとおり消防大学校へ職員が派遣された。

平成30年度 消防本部(局)別受講者数

区分	教育訓練の種類	項目	実施年月日	教育 実日数	延時間	消防本部(局)						本部		合計		
						福井	敦賀美方	南越	若狭	大野	勝山	鯖江丹生	嶺北		永平寺	その他
消防職員	初任教育(第53期)	初級幹部科	30. 4. 4~9. 26	120	835	16	4	7	3	1	1	4	8	1	45	
			隔年実施のため中止													
			30. 12. 6~12. 14	7	49	2	2	3	1	1	2	4	1	18		
	幹部教育	中級幹部科(第31期)	30. 6. 19~6. 21	3	21	4	2	1	2	2	1	2	2	2	15	
			30. 11. 7~11. 20	10	70	2	2	3	2	1	1	1	3	15		
			隔年実施のため中止													
	専科教育	特殊災害科	31. 2. 13~2. 26	10	70	2	2	3	2	1	1	1	3	3	15	
			31. 1. 9~1. 18	7	49	2	2	3	2	1	1	1	4	16		
			隔年実施のため中止													
	救助科	予防査察科(第14期)	30. 10. 2~11. 2	23	161	2	2	3	2	1	1	1	4	1	17	
			31. 1. 23~3. 14	36	252	4	6	5	5	2	1	2	8	1	36	
			30. 7. 4~7. 20	12	84	3	2	2	2	2	1	1	4	1	15	
	特別教育	水難救助科(第23期)	(下記公開講座に記載)													
			30. 4. 12~4. 13	2	14	5	4	4	4	4	2	4	4	2	33	
			30. 5. 17	1	3	5	4	3	2	1	2	4	3	30		
小計	起震車操作員教育(新規養成)	小計	231	1,608	47	32	37	28	14	12	25	48	10	255		
		初級幹部科	2	12	11	8	3	7	7	2	5	4	2	49		
		指揮幹部科														
消防団員	現場指揮課程	分団指揮課程	30. 11. 24~11. 25	2	14	5	6	3	4	3	2	3	3	1	30	
			30. 12. 8~12. 9	2	10	4	3	3	7	4	2	5	4	2	32	
			30. 11. 3~11. 4	2	12	1	3	3	4	1	1	2	2	1	18	
	小計	消防団員指導員教育(日消)	小計	8	48	21	20	12	22	15	7	15	13	4	129	
			自衛消防隊幹部教育	1	7	4	18	2	5	16	2	2	1	4	1	53
			女性防火クラブ員教育(第1回)	1	6	11	3	6	3	5	2	2	4	6	3	43
	その他	自主防災組織員教育(第1回)	30. 10. 7	1	3	9		45			16		3	16	49	
			30. 12. 2	1	3										45	
			31. 2. 3	1	3	6		8		5	4	3	6	24	56	
	小計	自主防災組織員教育(第3回)	小計	5	22	30	21	19	53	42	8	10	19	44	246	
合計			244	1,678	98	73	68	103	71	27	50	80	58	2	630	
中級幹部科			1	4	4	5	4	2	2	4	5	4	2	2	32	
公開講座	救助科	30. 10. 22	1	4	4	6	3	5	2	4	2	4	3	33		
		31. 1. 15	1	4	5	4	4	4	2	2	1	5	4	1	30	
		31. 2. 25	1	4	4	3	4	4	2	2	1	4	4	1	27	
小計	予防査察科	31. 3. 5	1	4	7	8	7	6	2	7	7	8	8	60		
		救急科	1	4	7	8	7	6	2	7	7	8	8	60		
		合計	5	20	24	26	21	22	10	17	23	24	15	182		
総計	合計	249	1,698	122	99	89	125	81	44	73	104	73	2	812		

第2表 平成30年度消防学校教育訓練実施状況

区分	項 目	入校者数	教育実日数	教育時間数	担当講師別時間数				
					学 校	県	消 防	専 門	
消防職員	初任教育(第53期)	45	120	835	537	31	206	61	
	幹部教育	初級幹部科							
		中級幹部科(第31期)	18	7	49	9	2	25	13
		上級幹部科(第13期)	15	3	21	2	3	10	6
	専科教育	警防科(第37期)	15	10	70	27	11	21	11
		特殊災害科							
		危険物科(第34期)	16	7	49	9	0	25	15
		火災調査科							
		救助科(第42期)	17	23	161	23	8	116	14
	特別教育	救急科(第26期)	36	36	252	7	6	83	156
		水難救助科(第23期)	15	12	84	8		76	
操法指導員教育		33	2	14	2		14		
起震車操作員教育		30	1	3	3				
	小 計	240	221	1,540	627	61	576	276	
消防団員	初級幹部科	50	2	14	7			7	
	指揮幹部科								
		現場指揮課程	30	2	14	1		13	
		分団指揮課程	32	2	14	10	4		
	消防団指導員教育(日消)	18	2	14	12	2			
	小 計	130	8	56	30	6	13	7	
一般・その他	自衛消防隊幹部教育	53	1	7	7				
	女性防火クラブ員教育	39	1	6	6				
	自主防災組織員教育	134	3	9	9				
	小 計	226	5	22	22	0	0	0	
	合 計	596	234	1,618	679	67	589	283	
公開講座	中級幹部科	32	1	4				4	
	予防査察科	27	1	4				4	
	救助科	33	1	4				4	
	危険物科	30	1	4				4	
	救急科	60	1	4				4	
	公開講座合計	182	5	20	0	0	0	20	
	総 合 計	778	239	1,638	679	67	589	303	

第3表 平成30年度消防大専科派遣者数

学 科	派遣者数	備 考
幹 部 科	(第49期)	福井
	(第50期)	敦賀美方
	(第51期)	消防学校、嶺北
	(第52期)	南越、鯖江・丹生
上 級 幹 部 科	(第81期)	1 勝山
警 防 科	(第101期)	2 大野
	(第102期)	鯖江・丹生
救 助 科	(第75期)	1 福井
救 急 科	(第79期)	1 若狭
予 防 科	(第100期)	1 鯖江・丹生
危 険 物 科	(第12期)	2 嶺北、敦賀美方
火 災 調 査 科	(第34期)	1 鯖江・丹生
新 任 教 官 科	(第11期)	1 若狭
現任教官科(総務・予防)	(第1期)	1 消防学校
現任教官科(警防)	(第1期)	1 消防学校
高度・特別高度救助コース	(第7回)	1 敦賀美方
航空隊長コース	(第17回)	1 防災航空事務所
危機管理・国民保護コース	(第7回)	4 消防学校、敦賀美方、福井市役所、嶺北
自主防災組織育成コース	(第13回)	2 嶺北、消防学校
自主防災組織育成短期コース	大阪会場	2 南越、越前市
女性消防吏員活躍推進講習会	(第2回)	1 鯖江・丹生
合 計	29	